



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

Jul., 1982

0-1

### — The Narrow and Wide Gates —

Enter through the narrow gate. For wide is the gate and broad is the road that leads to destruction, and many enter through it. But small is the gate and narrow the road that leads to life, and only a few find it.

狭い門からはいりなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々としていて、そこから入る者が多いのだ。しかし、生命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。

(マタイオスによる福音 7章13節~14節)

## Onward Centennial

山中 秀男

大阪クラブをスポンサークラブにして、大阪センテニアルクラブが誕生しました。

大阪 YMCA 100周年の記念すべき年にセンテニアルを冠した当クラブはその歴史的意義に感動し、設立に至る迄指導、援助をいただいた皆様に感謝する次第です。

私が始めて Y's の運動に接しましたのは鈴木謙介氏が、次期国際協会会長としてワシントン D.C. ショアハム・アメリカーナ、ホテルに来られた折、当時ニューヨークに駐在していたので会いに行った時が始めてです。日記をひもといてみますと「1974年7月29日(日) YMCA 大会盛況、鈴木常務多忙の為、ニューヨークに来られずそのまま帰らる」と記してあります。

YMCA と Y's の違いをるる聞かされていたのであるが理解不足のままそのように記しています。

「日本ワイズメン運動史・半世紀の歩み」にこの時の大会を報じ、日本での国際大会前景気上々を記した日本区区報が丁度100号であります。

事実は小説より奇なり、100 (センテニアル) にちなんだ記録が他にもあります。土佐堀クラブの出来た昭和26年(1951)は、北米 YMCA 100周年、センテニアル・コンベンションをゆかりの地オハイオ州クリーブランド市で開催しています。大阪クラブを母とした兄、弟クラブが片やアメリカ YMCA 100年目に、もう一つが大阪 YMCA 100年目に設立されたのであります。

アメリカの各州にはニックネームが付いていますが、独立100年目に出来たコロラド州が「センテニアル・ステート」といわれる由縁です。

東部より go-west と開拓してきたフロンティアースピリットはコロラドで100年目を迎えた。Y's の運動も同じ

### THEME (1982~'83)

#### I. P. OPPORTUNITIES

through PARTNERSHIP.

#### R. D. GOOD WORK with GOOD HEARTS.

#### D. G. 全員参加でワイズにパワーを!

メネットも共に。

#### P. Onward CENTENNIAL.

であります。

大阪 YMCA 100年の歴史はロッキー山脈の辺りまで切り開いてきた。そこに播かれた一粒の種(センテニアルクラブ)はロッキーを越え、豊穡な西部に見事な花を咲かせ実を結ぶ使命があります。会長モットーも "Onward Centennial" としました。"Onward, Christian Soldiers" からコンセプトとリズムをとりました。この歌の第四節「Onward, then, ye people, join our happy throng; Blend with ours your voices.....」今後のあるべき行き方を示唆してくれています。

先輩諸兄の築いた100年の歴史を土壌にクラブメンバーが手を取り合って仲良く前に進み、日々を充実させていきたいと念じております。今後の御指導、御支援をお願い致します。

### 7月例会プログラム

と き 1982年7月21日(水) 午後6:30~8:30

と ころ YMCA 国際・社会奉仕センター内

司会 黒田巖之君

1. 晩 餐 「サントネージュ」(6:30~7:00)
2. 開 会 山中会長
3. クラブソング
4. ゲスト及び新規出席者紹介 山中会長
5. 6月役員会報告 "
6. 3分間スピーチ「自己紹介」 当日指名
7. インフォメーション
8. 閉 会 山中会長

### 設立総会出席者

	センテニアル	ゲ ス ト	合 計
メ ン	25名	55名	80名
メ ネット	6名	8名	14名
合 計	31名	63名	94名



## センテニアル設立総会成功裡におわる

書記 鈴木謙介

会員各位のご承知の通り、6月16日(木)中央電気クラブで、例会形式で厳粛のうちに、そして楽しいフンイキに包まれ、大阪附近の各クラブの代表多数とチャーター・メンバー予定者25名と、6名のメネットさんも加わって盛大に行うことが出来たことはほんとに感謝感激だった。ゲストの方々から厚意に充ちた祝辞や激励は忘れるわけにいかない。わがクラブとしては初めての公式行事であった。ゲストの人々の中からセンテニアルという名称は最高だ、短い時間の中によく色々なことをもりこまれた、椅子にすわって食事をするのは良い、センテニアルはよくも良い人々を集めたものだ、チャーターの日が楽しみであるなどの声がきかれた。

さて、この総会を経て日本区への加盟手続き、引つづいて国際加盟の手続きをふむこととなり、これからまだ坂道を昇っていく苦しみもあり、楽しみもあるので、会員の皆様方の自発的な行動や積極的意見が必要となってきます。チャーター申込書は日本区を経て国際事務局へ提出します。韓国ソウルにおいて第55回国際大会(7/20~7/23)にジュネバ事務局が来ているので出来る限り早く手続を終るよう、ソウルに行く鈴木が促進させてくる予定です。チャーターナイトのプログラムについても会員の皆様の創意あるアイデアを伺いたいと思います。それから場所・日時についてもご意見をお出し下さい。設立総会も終ってクラブ会員の親睦と交流が一層高まります様にとどなたも願っておられることでしょう。

### ・ゲストご紹介

山田利三郎 日本区理事・松崎豊次 次期理事・大野嘉宏 EMC主任。川口宏 中西部長・篠田桂司 次期部長・新本英二 EMC主任。中西敏一君・岡本尚男君・大槻隆彦君・渡辺泰一君(京都パレス)、高橋克二君・川戸使郎君(京都ウエスト)、城純一君・小林正俊君(神戸)、橋本完君(西宮)、穴戸良美君(奈良)、神谷尚孝君(和歌山)、藤原重信君・北村詔四君・同メネット・今村一之君・工藤義正君・牧口望君(土佐堀)、山口肇君・石原進三君(大阪サウス)、高田一君・小島規似郎君・尾和英雄君・駒川文彦君(豊中)、松野五郎君・羽田野彌君(堺)、保富一郎君(千里)、木下百太郎君・同メネット・高橋昭兆君(長野)、市田忠夫君(高槻)、伊藤圭介君(河内)

李正美嬢・ご母堂(特別ゲスト)

真嶋克成君・下古立悦子嬢(YMCA)

生地幸雄君・同メネット・岩崎龍姉・岩城重雄君・江藤順蔵君・大岡次郎君・同メネット・尾形繁之君・鋸平太良君・同メネット・加茂栄三君、同コメット・篠田光信君・世戸一夫君・高井良治君・中出俊郎君・牧口五明君・遊上義一君・同メネット・渡辺藤市郎君・山村幸明君・瓜生菊雄君(大阪クラブ)

## 激励の辞

(総会のゲスト・スピーチより)

・遊上 義一君(スポンサークラブ会長)

激励といえばアクセルを踏むべきであるが、センテニアルクラブにはむしろブレーキを踏みたい気持ちです。それはこのクラブの推進者が鈴木謙介さんだからです。鈴木さんはY'sでも有名な哲学者であり理想主義の人。すでに「例会はすべて英語でやるらしい」といううわさまで聞える。私の紹介した会員も何人かいることだし是非日本語でお願いしたい。Y'sには子供の世界にあるような遊びの精神がある。どうか鈴木哲学にこの遊びのこころを包含してやっていただければ幸いです。

・山田利三郎君(日本区理事)

センテニアルは特に国際的奉仕を強調されているが、一般に国際というと欧米諸国を考慮勝ちである。しかし、アジアの一員としてアジアの仲間と平和に努めるといふ国際性を、このクラブに期待したい。

奉仕とは、いかに自分の時間を他者のために割くかということである。お互に多忙の中から、出にくい所を例会に出席し活動に参加することが、他人のため弱者のために貴重な時間を割くという意義があるのだ。

・大野 嘉宏君(日本区 EMC主任)

クラブ活性化の経験則からいえば、「奉仕」を目的意識にしすぎないこと。まずはメンバー相互の人間の交流を通じて自己研鑽することを運営の目標とする。クラブの力が結集できたらその力を奉仕に向ける、という考え方でやってほしい。

・穴戸 良美君(YMCA サービス)

みなそれぞれ自分のもてる「小さな力とわざをもって」地域の青少年のために奉仕する、というYMCAの考え方がそのままY's Menの活動に通ずるものである。

・木下百太郎君(大阪長野クラブ)

Y's Menは甘栗太郎のなか味のように「ひと粒より」の人達の集まりであり、いずれも「粒ぞろい」である所が特長。メンバーひとりひとりが同じ位の活動をしていただきたい。又、メネットさんの力が大きく物を言う。よく協力して、クラブを支える力となってほしい。

・川口 宏君(中西部部長)

部長標語として「理解は行動から」と掲げた。Y'sとはなどと頭で考えるより、まず活動に参加すること。そうすればおのずと体で感じられるようになる。何よりも例会に必ず出席することから始めることだ。

・松崎 豊君(次期日本区理事)

できる限り例会に出て、できる限り多くの隣人と交流をし、まず和を作ること。その後に奉仕を考えるのがよい。メンバーの中には古い方もおられるが、若い人との和を図ってほしい。そして古いY'sの型を押しつけることのないように願っている。



設立までの経過

- 1981年12月1日(木) プラザ梅新ビル  
第1回会合「新クラブの結成について」
- 1981年12月18日(金) YMCA 国際・社会奉仕センター  
第2回会合「Y's Men's Club の活動について」
- 1982年1月27日(木) センター  
第3回会合「Y's Men's 運動について」
- 1982年2月24日(木) センター  
準備例会「クラブ例会の日程・時間・会場の決定」
- 1982年3月3日(木) センター  
役員会「役員候補推せん委員会・例会費の検討」
- 1982年3月17日(木) センター  
仮例会「会長・書記・会計の決定・例会費の決定」
- 1982年3月24日(木) センター  
役員会「未決役員の選任・クラブメンバーの確認」
- 1982年4月16日(金) センター  
臨時役員会「クラブ名称・設立総会・  
チャーターナイト検討」
- 1982年4月21日(木) センター  
仮例会「役員決定・設立総会の日時・場所決定」
- 1982年4月28日(木) センター  
役員会「クラブ会則検討」
- 1982年5月19日(木) センター  
仮例会「クラブ名称・会則の決定」
- 1982年5月21日(金) 御堂ビル  
臨時役員会「設立総会準備事項の検討」
- 1982年5月26日(木) 中央電気倶楽部  
役員会「設立総会プログラム・  
案内状・ゲストの決定」
- 1982年6月11日(木) センター  
臨時役員会「設立総会会場設営・役割分担の決定」
- 1982年6月16日(木) 中央電気倶楽部  
設立総会

Club Board of Directors (1982~83)

President	山中 秀男
Vice Presidents	安福又四郎 長安 敏夫
Secretaries	鈴木 謙介 河野 正義 堀 利満
Treasurers	藤本 史郎 西村 隆夫
Auditor	上月 英子
Related Y Secretarie	田中 穰二
Bulletin Editors	山田 孝彦 柴田 健 岡本 公一
Menette Service Director	山中ちあき

YMCA ニュース

—協力会員入会のおすすめ—

大阪 YMCA では新会則にもとづいて、この4月から5種類の年額会費を定めるとともに、会費は主として青少年育成のためのボランティア活動や国際社会・地域社会での奉仕活動に用いることになりました。ご承知の通り、ワイズメンズクラブの正会員は YMCA 会員であり、とくに当クラブの目的の一つは国際・社会奉仕センター活動に協力して国際奉仕につとめることとあります。どうぞ YMCA 会員でない方は、是非ご入会の手続きをお取り下さいますようお願いいたします。なお、協力会員パンフレットは7月例会でお渡しします。

日本区大会出席の記

鈴木 謙介

大会は6月12・13両日、今年の名古屋・東海クラブの熱意あふれ、行届いたホストで850名の出席という盛大な大会だった。"ふれあいの祭典—メネットと共に"がテーマだった。センテナルとしては正式出席ではなかったが、すでに話題となり噂話となっていて各地のワイズから好意に充ちた激励の言葉がありました。韓国・台湾・フィリピン・米国からも参加があり、交歓の輪が広がった。東海クラブには若い熱情あふれるメネットさんが多勢おられて、献身的に動き廻っておられた。そのエネルギーは新鮮な魅力だった。大会をホストすることは実には大変なことだが、早くからこれを敢然と引受けられ、これを完成させられたことに敬意と賞讃とをお贈りしたい。開会式、議事、閉会式などのやり方がスマートであった。記念講演「アジアの健康を考える」川原啓美アジア保健研修所長の話は実に大会に適切だった。聖日礼拝は楠沼敬一教師の「貧しい人は幸いである」感謝献金はアジア保健研修所に献げられた。メネットアワーは荻昌弘氏の「映画と人生」夜のフレンドシップアワーでは素晴らしいディナーパーティー、引つづいてドアプライズの抽せんのと、ふれあいタイムとして音楽とダンスとドリンクと語らいの場だった。カクテルアワー・ゴルフ大会表彰など多彩。来年は6月4日(土)・5日(日)、広島市公会堂、各ホテルで。センテナルからは正式に多数出席が望まれる。我等のスポンサークラブ、大阪が優秀クラブ賞を獲得されておめでとう。

センテナルクラブ入会金・会費の納入お願い

盛大に発足したわれらのクラブ。本格活動の為に先づは入会金 ¥20,000 前期会費(82'7~12) ¥23,000 の納入をお願いします。7月例会にて現金納入も受けます。

振込先 三菱信託銀行大阪支店(普) №7768641

大阪センテナル・ワイズメンズクラブ 会計 藤本 史郎

6月第2例会報告

6月23日(木) 6:30~8:30

出席者 藤本・生地・河野・黒田・森田・柴田・鈴木・田中・山村・山中・山田 以上11名

1. チャーター申請書類および署名について。
2. チャーターナイトの日と場所の再検討、再調査  
【9月25日(土) 午後2:00~6:00 中之島ロイヤルNCB 会館に決定した】
3. チャーターナイト準備委員の選任依頼について。
4. 設立総会の結果報告について。
5. 7月例会プログラム(別掲) 以上

《編集後記》

◇設立総会には、ご多用の中多数のゲストにご列席を賜わり、暖かい励ましのこたばを頂きありがたく御礼申し上げます。神のご加護のもと、無事設立総会を終え、センテナル一同喜びにあふれております。この感激と感謝をブリテン創刊号(訓練中につき0-1とします)に託しお届けします。

◇東北新幹線はいよいよ本格開通しましたが、わがセンテナル号はようやく始動したところ。国際チャーターを受ける日まではテストランのつもりで懸命に努めます。何とぞよろしくご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。